

福岡県感染症発生動向調査感染症週報

令和7年第17週（令和7年4月21日～令和7年4月27日）

福岡県感染症情報センター

■ コメント

- ・百日咳の報告が142件（前週比約1.4倍）ありました。第1週からの累積報告数は655件で、報告数が最多であった2019年の同時期（396件）を大きく上回り推移しており、注意が必要です。ワクチンの定期接種が予防に有効ですので、お住まいの市町村にお問合せください。
- ・大型連休中は、帰省や旅行等、人の移動や不特定多数の人との接触が多くなります。こまめな手洗い、適切なマスクの着用等により感染防止に努めましょう。また、海外旅行のご予定がある方は、渡航前に、渡航先で流行中の感染症を確認し、正しい予防法を身に付け実践しましょう。
- ・福岡県感染症情報ホームページ(https://www.fihs.pref.fukuoka.jp/~idsc_fukuoka/)では、感染症発生情報、病原体検出情報などをご覧になれます。

■ 全数把握疾患報告

病名	福岡県		全国（前週）	
	報告数	累積報告数	報告数	累積報告数
結核	20	221	213	3,885
腸管出血性大腸菌感染症	4	21	28	383
レジオネラ症	1	14	24	496
アメーバ赤痢	2	9	4	139
カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	1	31	10	527
後天性免疫不全症候群	2	12	13	231
侵襲性肺炎球菌感染症	3	54	65	1,494
梅毒	7	256	205	4,014
播種性クリプトコックス症	1	2	1	45
百日咳	142	654	1,884	9,336

■ 定点把握疾患報告数

警報レベル（※）

注意報レベル（※）

病名	福岡県			全国（前週）	
	報告数	定点当たり	前週比	報告数	定点当たり
新型コロナウイルス感染症	113	0.93	0.83	6,852	1.77
インフルエンザ	146	1.20	1.01	4,627	1.20
急性呼吸器感染症	5,914	48.48	1.11	216,136	56.58
RSウイルス感染症	79	1.13	0.70	2,012	0.85
咽頭結膜熱	37	0.53	1.23	755	0.32
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	267	3.81	1.03	6,250	2.64
感染性胃腸炎	747	10.67	1.01	20,169	8.54
水痘	26	0.37	0.33	868	0.37
手足口病	8	0.11	4.00	171	0.07
伝染性紅斑	76	1.09	1.21	2,963	1.25
突発性発しん	37	0.53	1.42	709	0.30
ヘルパンギーナ	2	0.03	1.00	48	0.02
流行性耳下腺炎	4	0.06	0.80	143	0.06
急性出血性結膜炎	1	0.04	-	45	0.06
流行性角結膜炎	19	0.73	1.36	661	0.95
細菌性髄膜炎	0	0.00	0.00	7	0.01
無菌性髄膜炎	0	0.00	0.00	9	0.02
マイコプラズマ肺炎	2	0.13	1.00	144	0.30
クラミジア肺炎	0	0.00	-	3	0.01
感染性胃腸炎（ロタウイルス）	1	0.07	0.14	114	0.24

（※）令和7年第15週からの定点医療機関の減少等に伴い、従前の警報及び注意報の基準値を直ちに当てはめることはできません。そのため、国が警報及び注意報の取扱いを検討することとしています。取扱いが示されるまでの間、本県では従前の基準値で運用することとします。